

(様式1)

校種	中	学校番号	05	学校名	宇都宮市立 陽西中学校
----	---	------	----	-----	-------------

## 令和5年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

豊かな心と健やかな身体をもち、自ら考え行動するなど、意欲をもって自主的・創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

#### (2) 具体目標（目指す生徒像）

- ・敬愛の心があつく心情豊かな生徒
- ・よく考え主体的に行動できる生徒
- ・体力気力の充実した健康な生徒

### 2 学校経営の理念

グローバル社会の進展、情報社会・科学技術の進展、持続可能な社会づくりへの対応、感染症の影響や自然災害の激甚化など、これからの社会は予測を超えた変化が起こることが想定されている。このような中での学校の使命は、生徒に確かな学力をつけ、豊かな心を育むとともに、激動の社会を生き抜くために必要な「生きる力」を確実に身に付けさせることである。

このために、「夢や希望に向かって挑戦するたくましい生徒の育成」を重点目標とし、人権尊重の精神を基盤に全教育活動を通じて、「認めてほめて伸ばす指導」の充実を図り、生徒の「自己肯定感」を高め、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成したい。

教職員は、「教職員の生き方改革」と「学校における働き方改革」を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図るとともに、同僚性を高め、組織力と専門性の向上を目指す。

<目指す学校像> <ul style="list-style-type: none"><li>・笑顔と潤いがある学校</li><li>・感動と活力にあふれる学校</li><li>・地域とともに歩む学校</li></ul>	<目指す教職員像> <ul style="list-style-type: none"><li>・人間性豊かで信頼される教職員</li><li>・使命感と情熱をもつ教職員</li><li>・幅広い教養と専門性を身につけた教職員</li></ul>
--	---

### 3 学校経営の方針

重点目標 「夢や希望に向かって挑戦するたくましい生徒の育成」

#### (1) 確かな学力の育成

- ・確かな学力の定着を目指して、宇都宮モデルによる授業を展開し、活動のねらいを明確にししながら、「対話」を通じた主体的で深い学びを促進する。
- ・生徒の実態を踏まえた指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習を充実させ、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。

#### (2) 潤いと活力がある学校づくり

- ・どの生徒にも温かい雰囲気を受け入れる思いやりのある学級づくりに努めるとともに、

個に応じて多様な居場所を確保する。

- ・時間を意識した学校生活に重点を置きながら、基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- ・道徳科、読書活動、あいさつ運動、交流活動等の充実を図り、教育活動全体を通して、やさしさと思いやりにあふれた心の教育を推進する。
- ・学校行事、部活動、体験活動等を通して社会性を養い、生徒会活動、学級会活動、清掃活動等を通して自治意識を高めるとともに、挑戦する心、あきらめない心、困難を乗り越えようとする強い意志などのたくましさを涵養する。

### (3) 地域とともに歩む学校づくり

- ・学校情報の積極的な発信と地域教育資源の活用、地域学校園・小中一貫教育の推進と地域協議会等との連携、生徒の地域貢献活動の実践等による、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・文教地区の強みを生かし、地域に根ざした豊かな食農体験活動や近隣高校との連携を図ったキャリア教育を推進する。
- ・保護者や関係機関等との連携を図り、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導やインクルーシブ教育の充実に向けた特別支援教育の推進に努める。

### (4) 教職員の「生き方・働き方改革」の推進

- ・「学校における働き方改革」を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図る。
- ・教職員の使命を自覚し、同僚性を高めながら、組織力と専門性の向上を目指す。
- ・定年延長制の導入を機に、仕事と私生活を見つめ直す「生き方改革」を進め、各教職員がウェルビーイング（すべてが満たされ、継続性のある幸福）を追求する。

[陽西地域学校園教育ビジョン]

『自己の「よさ」を生かすとともに他者を尊重し、粘り強く頑張る子どもの育成』  
～協働的な学びを通して、自己肯定感を育む教育活動の推進～

## 4 教育課程編成の方針

- ・「学習指導要領」の趣旨に則り、「個別の知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」のバランスの取れた育成を目指す。
- ・学校経営方針のもと、教育目標の実現を目指すとともに、「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」、「令和5年度指導の重点」等を踏まえながら、教科横断的な視点で各教科等の関連付けを図った教育課程を編成する。
- ・学校課題や重点目標、特色ある学校づくりを具現化した教育課程を編成する。

## 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

### (1) 学校運営

- 教職員の学校経営への参画意識の高揚と組織的な企画・運営を推進する。
- ・業務改善の推進により、教職員の勤務意欲を向上させるとともに、生徒と向き合う時間を確保する。
- ・教育目標実現のための学年・学級目標の設定、具体策の明確化と実践に努める。
- コロナ後の教育活動を精査し、必要な学習機会や体験活動等を回復させ、教育活動を充実する。

## (2) 学習指導

- 確かな学力の育成を目指して、学習指導要領に基づき、教育活動のねらいを明確にし、わかる授業・できる授業の実践と生徒一人一人の良さを生かす活動の充実に努める。
- ・習熟度別学習、ティーム・ティーチング、重点的な指導や繰り返し指導、一人一人の生徒の理解の程度や興味・関心に応じた指導など、指導方法・評価方法を工夫する。
- ・帯時間や放課後等を活用して、基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた補充学習等を効果的に行い、授業中に身に付けた知識・技能のより確実な定着を図る。
- ICTを効果的に活用し、個別最適な学びを実現するGIGAスクール構想を推進する。

## (3) 児童生徒指導

- 時間を意識した学校生活に重点を置きながら、基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- ・教職員は生徒との信頼関係を構築し、魅力にあふれ安心して生活できる学校づくりを推進する。
- ・日々のコミュニケーションに努めることはもとより、年5回の「家庭でのいじめ悩みアンケート」や年2回の教育相談と三者懇談、宮っ子ダイアリーの活用などを通して、問題行動の未然防止やいじめゼロを目指す。
- 心の教育の充実により、自信や自己有用感、たくましさ、規範意識、思いやりなど、豊かな心を育む。
- ・定期的にケース会議（教育相談、生徒指導、特別支援）を開き、担任をサポートするチーム支援を行う。
- ・何事においても早期発見・早期対応に心がけ、早期解決を図る。

## (4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・保健体育科の授業を中心に、様々な運動を経験し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。
- 食に関する正しい知識や正しい食習慣を身に付けられるよう、組織的に食に関する指導に取り組む。
- ・避難訓練や交通安全教室を通して、安全を確保するための判断力や実践力を育成する。

## 6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

## 7 特色ある学校づくり等に関する取組

### (1) 育てたい資質・能力

- ・多面的・総合的に考え、表現・発信する力
- ・進んで社会とかかわり行動する力
- ・自他の存在を尊重し、協力する力

### (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

#### ① 学力向上のための取組

- ・習熟に応じた支援や学習形態などの工夫により生徒一人一人に「わかる授業」の展開
- ◇地域や外部人材を講師とした「レベルアップ学習・夏休み学習相談」の充実

- ② 未来に生きるためのキャリア教育の推進
  - ・1年の「社会人に学ぶ講話会」、2年の「文教地区の強みを生かした高校見学」、全学年の「Will ナビ講演会」など、キャリア発達の課題に対応した教育の推進
  - ・魅力ある学校づくり地域協議会や地域諸団体と連携・協力した「地域未来会議」や地域貢献活動（清掃活動等）の充実
- ③ 持続可能な社会づくりの取組
  - ◇各学年と専門委員会による「学校花いっぱい活動（フラワープロジェクト）」の展開
  - ・生徒会各委員会によるSDGsに係る取り組みの実践

## 8 本市の重点施策・事業との関連

### (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携協働を含む）

#### ① 基本的考え

学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」の実現のためには、組織的・継続的に地域と学校が連携・協働していくことが大変重要である。こうしたことから、学校の情報発信やデータの公表、学校公開・授業参観等により、本校教育の成果や課題、生徒の実態等を正しく地域に理解してもらうとともに、地域力を活用した教育活動を充実する。

#### ② 主な取組

- ・情報発信（学校ホームページ、各種たより等）
- ・学校ボランティア（図書ボランティア、ミシンボランティア等）
- ・地域や外部人材を講師とした「レベルアップ学習・夏休み学習相談」
- ・「社会人に学ぶ講話会」、「高校見学」、「Will ナビ講演会」
- ・「地域未来会議」、地域貢献活動（清掃活動等）

### (2) 小中一貫教育・地域学校園

#### ① 基本的考え

『自己の「よさ」を生かすとともに他者を尊重し、粘り強く頑張る子どもの育成』～協働的な学びを通して、自己肯定感を育む教育活動の推進～のテーマのもと、園内学校間の連携を密にし、児童生徒や地域の実態を共有し、知特体のバランスのとれた教育活動を展開し、将来地域に貢献できる児童生徒の育成を目指す。

#### ② 主な取組

- ・定期的な各部会・企画委員会・運営部会、毎月の学校園校長会議において、課題解決の取り組みの実施とPDCAサイクルを生かした、より効果的な小中連携の推進
- ・乗り入れ授業(中⇒小)や地域学校園あいさつ運動（年間2回）の実施

### (3) 不登校対策

#### ① 基本的考え

生徒を温かい雰囲気を受け入れ、普段からの信頼関係を構築するとともに、生徒同士が関わりをもつ中で、自己有用感を高めることができるよう、個を大切にした学級経営の充実に努めることが大切である。また個のニーズに応じ、オアシス（校内適応支援教室）や1人1台端末の活用をはじめとする多様な学習機会を設ける必要がある。

教職員組織においては、生徒指導・教育相談部会を中心に、SCM、特別支援C○、

S C, M S, 関係外部機関と連携し, ケース会議を有効に活用し計画的に支援を行い, 不登校対策に取り組んでいく。

#### ②主な取組

- ・ 明るい学校生活アンケート調査 (年 5 回), 教育相談 (年 2 回), 三者懇談 (年 2 回) 等により, 生徒の状況把握を行う。
- ・ 生徒指導部会, 教育相談部会を毎週開催し, 各担任を組織で支援するとともに, 必要に応じて個別ケース会議, 関係機関との連携に基づいた効果的支援の実施に努める。
- ・ 不適応生徒の教室復帰へ向けたオアシスの効果的な活用に努める。

### (4) G I G A スクール構想

#### ①基本的考え

I C T 等を効果的に活用しながら, グローバル化や情報化の一層の推進など, 未来の急激な時代の変化に向き合い, 生き抜くための資質・能力を身に付けさせる。

特に, 1 人 1 台端末の活用を通して, 学習の基盤となる資質・能力の 1 つである情報活用能力の定着を図るとともに, よりよい情報の使い手を目指すデジタルシティズンシップ教育を推進する。

#### ②主な取組

- ・ タブレット型 P C の持ち帰りを毎日として, 週の初めに各学年生徒に向けて, クラブルームにその週の課題等を載せて取組の促進を図る。
- ・ 毎週木曜日を「P C の日」とし, 課題に取り組む。
- ・ G I G A スクール推進担当を校務分掌に置いて, 各学年教職員への支援や学校教職員全員での研修等を企画し, 理解促進を図る。同時に, 各教科部会の中でも時間を確保し, 教科の特性を考えた利活用の研修にも取り組む。
- ・ デジタルシティズンシップの育成については, 各学年 I C T 担当者から, 「宇都宮市学校デジタル化推進基本計画」をもとに各学年において, 適切に取り組む。さらに必要に応じて, 生徒指導部と連携し研修会等を企画する。

### (5) 宇都宮学

#### ①基本的考え

「宇都宮学」の学習や「道徳科地域教材」を用いた授業を通して, 地域の教育資源や資料等を活用し, 伝統を継承する人の生き方に触れる体験的な活動や郷土の歴史, 文化, 伝統, 産業, 風土等について理解する学習を行うなどして, 生徒が郷土への愛情と誇りを持つようになるようにする。

#### ②主な取組

- ・ 総合的な学習の時間において, 1 年生は「宇都宮の歴史, 過去・現在・未来」, 2 年生は「宇都宮の今」, 3 年生は「宇都宮の未来」をテーマとした学習に取り組む。
- ・ 陽西地域の特徴, 文化, 地域の良さや課題などを調べ, 地域住民一人一人が地域を構成する一員であることを自覚させる。
- ・ 道徳教育推進教諭を中心として, 各学年において「道徳科地域教材」の扱い方について研究し, 各クラスでの授業実践を行う。